
児童文学作家 山中恒氏を講師に招き、講演会を開催します

札幌大学女子短期大学部英文学科

札幌大学女子短期大学部英文学科では、学外有識者を講師として招き、英文学科学生の自己理解を深める目的で、講演会を10月4日（木）に開催します。

今回の英文学科講演会は、講師に児童文学作家の山中恒氏を招き、児童文学についてお話をいただきます。

聴講は無料で、市民の方の参加も歓迎しております。

日時：平成19年10月4日（木） 4講時（14：40～16：10）

場所：札幌大学3号館 3102教室（札幌市豊平区西岡3条7丁目）

講師：山中 恒氏（児童文学作家）

入場無料

問い合わせ：札幌大学学生支援オフィス短期大学部担当 011-852-9135

【山中 恒（やまなか ひさし）氏略歴】

1931年、北海道小樽市生まれ。早稲田大学第二文学部演劇科卒業。児童読物作家。

『赤毛のポチ』で日本児童文学者協会新人賞、『三人泣きばやし』でサンケイ児童出版文化賞、『山中恒児童よみもの選集』で巖谷小波文芸賞、『とんでろじいちゃん』で野間児童文芸賞を受賞。数多くの“児童読み物”を創作する一方、『子どもたちの太平洋戦争』『教えの庭に』『ボクラ少国民』などの「少国民シリーズ」で、自らが少国民として受けた戦時下の教育の実態を記録し続ける。『さびしんぼう（原作：『なんだかへんて子』）』『転校生（原作：『おれがあいつであいつがおれで』）』『はるか、ノスタルジィ』『あばれはっちゃく』のなど映画・テレビの原作も多数ある。近著に『間違いだらけの少年H』『「子どもは勉強しろ!」とっていい15の理由』。（はてなダイアリーより引用編集）